

【気象台からのお知らせ】～ 急な大雨から身を守るために～

夏になると雲がもくもくと発達し白く輝く積乱雲が現れます。積乱雲は、高さ十数km、水平方向の広がりも数km～十数kmの雨雲です。この雲は、範囲は狭いものの短い時間にバケツをひっくり返したような雨を降らせることがあります。

このような急な大雨では川で急激に水かさが増えたり、周囲より低い土地の浸水や道路の冠水が発生するなど、総雨量は多くなくても、わずか十分から二十分くらいの短い時間で危険な状態になる場合があります。雷注意報が発表されたり、テレビやラジオで「大気の状態が不安定です」などのコメントがあった場合には、急に降る大雨に注意が必要です。

急な大雨から身を守るためには、事前に自分がいる場所の危険を知り、空など周囲の状況を観察して、危険を感じたらすぐに危険を避ける行動を取ることが重要です。

自分がいる場所の危険とは、河川敷などで急に川の水かさが増したときに安全かどうかや、道路のアンダーパスや地下室のように、雨が降ると水が集まったり溜まるような場所ではないかというようなことです。

周囲の状況とは、発達した黒い雲が近づいて、周りが急に暗くなったり、雷が鳴ったり、大粒の雨やひょうが降り出すことや、川の水かさが増えたり、にごったり、流木が流れてくるなど川の状態が普段と違うようなことです。

危険を避ける行動とは、すぐに川から離れたり、地下から地上へ移動したり、水の集まりやすい場所に近づかないことなどです。

気象庁では大雨警報（浸水害）と洪水警報の危険度を色分けして、地図上に示した「危険度分布」をホームページで提供しています。普段から地図を見ていると危険な地域を簡単に把握することができます。急な大雨が予想される場合には、ぜひご覧ください。



問合せ 札幌管区気象台 天気相談所 ☎011-611-0170

余市町の空間放射線量率の状況

空間放射線量率は「**平常レベル**」でした

測定日：6月22日～7月23日
最高値：54 nGy/h
最低値：36 nGy/h
平均値：39 nGy/h

※直近の測定結果については、町ホームページでご覧いただけます。

私たちは日常的に自然界から微量の放射線を浴びています。平常時に測定される「空間放射線量率」は10～60ナノグレイ毎時（nGy/h）程度で、雨が降ると一時的に上昇する場合があります。

問合せ 地域協働推進課 ☎21-2142